

Title	ベンチャー企業における経営者価値
Sub Title	
Author	鈴木誠(Suzuki, Makoto) 奥村昭博
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1999
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1999年度経営学 第1514号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1514

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	奥村昭博研究会	学籍番号	89828445	氏名	鈴木 誠
(論文題名)					
「ベンチャー企業における経営者価値」					
(内容の要旨)					
<ol style="list-style-type: none"> 1. ベンチャー企業価値の決定要因は、経営者価値である。 2. ベンチャー企業とは、差別化戦略を武器に、潜在的に急成長する可能性を秘めた企業であると定義し、業種や設立年数によって峻別するものではない。 3. 経営者価値とは、「長期的に維持・拡大可能な、競争優位を確保することを目的とした、経営戦略・差別化戦略を構築できる力」と定義する。これをマネタリータームに置き換えると、企業価値、即ち企業の時価総額で評価することができる。 4. 経営者価値は教育と経験によって成長（変化）する。 5. 経営者価値のファンダメンタルは「経営理念・哲学」・「コアコンピタンス」・「創造力」及び「システム思考力」の4因子で決定する。ステークホルダーはこの4因子を受け止めて、反作用の型でネットワーク力を発生する。 6. 経営者価値＝ファンダメンタル4因子×ネットワーク力＝差別化戦略 7. 4因子×ネットワーク力の集合体が、経営者価値の必要十分条件。 8. 現代において、経営者価値5因子は、環境との関係において、「企業価値最大化主義」他10のアクションプランを生み出した。これは、環境と言う変動要素によって、導かれたものであるから、普遍的因子ではない。 9. 90年代の世界経済をリードしてきたのは、シリコンバレーモデル（SV モデル）型経営者である。 10. SV モデルは、コアコンピタンスに集中した差別化戦略に、IT 革命が相まって加速度的に進化した。また米国に根ざした、競争原理及び失敗許容力というインフラも、SV モデルのスムーズな展開を支えた。 11. 近年の日本で成功している経営者は、SV モデルを日本の環境にアレンジした、日本版シリコンバレーモデル（JSV モデル）型経営者と定義できる。 12. JSV モデルは、SV モデルと比して、経営理念や長期的視点においては優れているものの、一方でIT マネジメントや競走原理の導入などの点で劣っている。 13. 過熱気味のSV モデル、及び今一步完成度の低いJSV モデルは、多くの価値を生み出したとともに、多くの課題も露呈した。例えば、過剰資本市場重視、或いは過剰人材流動性等である。 14. SV モデル・JSV モデルを大きく凌駕する、経営者の次世代モデルを、ポストシリコンバレーモデル（PSV モデル）型経営者と定義する。 15. PSV モデル＝差別化戦略×競争原理 16. PSV モデルにおいては、SV モデルで金銭的インセンティブが過熱し、ゲーム感覚が行き過ぎたことを見直し、経営理念・哲学の重要性を再認識する必要がある。その上で差別化戦略を推進し、次世代IT 革命をも取り込まなければならない。また競争原理の導入についても、見過ごしてはならない。 17. PSV モデルの経営者が目指すべき会社像は、スモールカンパニーではなく、ベンチャースピリットを維持した、大企業グループである。よって、今後はグループ戦略が重要視される。 18. 日本経済及び世界経済を牽引するのは、価値の高いベンチャー経営者である。 					